# Apache

### 概要

本項目では、Apacheの構築とログの確認手法を習得する。 それに伴う、デーモン管理コマンドやFirewallの操作についても習得する。

## 目次

- 1. Apacheのテストページ表示
  - apacheインストール
  - apacheの起動と停止
  - 。 ポート開放
  - ブラウザでテストページ確認
- 2. index.html、test.php表示
  - 。 設定ファイルの確認とバックアップの作成
  - 。 サイトのホームディレクトリの変更の仕方
  - AddHandlerの追加によるCGIファイルの認識
  - 。 autoindex.confを編集
  - 。 index.htmlをブラウザで表示
  - 。 test.phpを表示
- 3. ログの確認
  - Webサーバのログ
  - 。 アクセスログ
  - 。 エラーログ

手順1: Apacheのテストページ表示

Apacheとは

Webサイトを配信するサーバを WWWサーバ と呼ぶ。 その中の1つとして、Apache HTTP Serverがある。 機能が豊富で柔軟な設定ができる。

Apacheインストール

- \$ sudo yum -y update
- \$ sudo yum -y install httpd
  - 。 ユーザのパスワードを要求されるので入力
  - 。 complete! と表示されればOK

#### [furuhama@localhost ~]\$ sudo yum -y install httpd

We trust you have received the usual lecture from the local System Administrator. It usually boils down to these three things:

#1) Respect the privacy of others.#2) Think before you type.#3) With great power comes great responsibility.

[sudo] password for furuhama:

余談であるが、yumコマンドはLinuxのパッケージを管理するためのコマンドである。 他にもLinuxのパッケージを管理するコマンドにはaptがある。yumとの違いは**パッケージ形式の違い**であ る。

yumのパッケージ形式は.rpm形式であり、RedHatやCentOS形式のディストリビューションで用いられる。 aptのパッケージ形式は.deb形式であり、DebianやUbuntu形式のディストリビューションで用いられる。

- \$ httpd -version
  - 。 インストールされた Apache httpd のバージョンを確認

[furuhama@localhost ~1\$ httpd -version Server version: Apache/2.4.6 (CentOS) Server built: Apr 2 2020 13:13:23

Apacheの起動と停止

- Apacheを起動
- \$ sudo systemctl start httpd.service
  - 。 ユーザのパスワードを要求されるので入力
  - 。 もし起動しない場合、CentOS7をシャットダウンし、もう一度起動すると良い

[furuhama@localhost ~1\$ sudo systemctl start httpd.service [sudo] password for furuhama:

- Apacheが起動できたかどうか確認
- \$ sudo systemctl status httpd.service
  - Active: active (running)と表示されていることを確認

[furuhama@loc	calhost ~1\$ sudo systemctl status httpd.service
httpd.servi	ice – The Apache HTTP Server
Loaded: lo	aded (/usr/lib/systemd/system/httpd.service; disabled; v
Active: ac	tive (running) since Mon 2020-11-09 17:59:10 JST; 1min 6:
Docs: ma	un : httpd (8)
ma	in:apachect1(8)
Main PID: 15	534 (httpd)
Status: "T	Total requests: 0; Current requests/sec: 0; Current traff
CGroup: ∕s	system.slice/httpd.service
	-1534 /usr/sbin/httpd -DFOREGROUND
	-1535 /usr/sbin/httpd -DFOREGROUND
	-1536 /usr/sbin/httpd -DFOREGROUND
	-1537 /usr/sbin/httpd -DFOREGROUND
	-1538 /usr/sbin/httpd -DFOREGROUND
	-1539 /usr/sbin/httpd -DFOREGROUND
Nov 09 17:59:	10 localhost.localdomain systemd[1]: Starting The Apache
Nov 09 17:59:	10 localhost.localdomain httpd[1534]: AH00558: httpd: Co
Nov 09 17:59:	10 localhost.localdomain systemd[1]: Started The Apache
Hint: Some li	ines were ellipsized, use -l to show in full.

- psコマンドはauxオプションで実行し、起動中の全プロセスを表示
- パイプを通してgrepコマンドを使うことで、大量に表示される中から、httpdが出現する行のみ抽出
- \$ ps aux | grep httpd

[furuhamal	Plocal	host	~1\$ ps aux 1	grep	httpd			
root	9439	0.0	0.4 224080	5032	?	Ss	19:51	0:01 /usr/sbin/httpd -DFOREGROUND
apache	9440	0.0	0.3 224212	3672	?	S	19:51	0:00 /usr/sbin/httpd -DFOREGROUND
apache	9441	0.0	0.3 224080	3136	?	S	19:51	0:00 /usr/sbin/httpd -DFOREGROUND
apache	9442	0.0	0.2 224080	2908	?	S	19:51	0:00 /usr/sbin/httpd -DFOREGROUND
apache	9443	0.0	0.2 224080	2924	?	S	19:51	0:00 /usr/sbin/httpd -DFOREGROUND
apache	9444	0.0	0.2 224080	2924	?	S	19:51	0:00 /usr/sbin/httpd -DFOREGROUND
apache	9445	0.0	0.2 224080	2924	?	S	19:51	0:00 /usr/sbin/httpd -DFOREGROUND
furuhama	9468	0.0	0.0 112812	968	tty1	S+	20:52	0:00 grepcolor=auto httpd

- Apacheを停止
- \$ sudo systemctl stop httpd.service
  - 。 何も表示されなくてOK
- \$ sudo systemctl status httpd.service
  - Active: inactive (dead)と表示されていることを確認

```
[furuhama@localhost ~]$ sudo systemctl status httpd.service

■ httpd.service - The Apache HTTP Server

Loaded: loaded (/usr/lib/systemd/system/httpd.service; disabled; vendor preset: disabled)

Active: inactive (dead)

Docs: man:httpd(8)

man:apachect1(8)
```

#### 解説

- CentOS7ではデーモンの制御制御対象のことをユニットと呼ぶ
  - 。 デーモンとはUNIX系OSにおける常駐プログラムのこと

- ユニットにはいくつか種類があり、代表的なものとして、プロセスの起動と停止に関する.serviceがある
  - 。 詳しくは参考文献を参照してほしい
- 各ユニットはsystemctlコマンドで制御できる
- psコマンドで確認すると、PID(プロセスID)が1番で動作していることが確認できる
- \$ ps aux | head -n 5

[furuh	ama@loca	lhost	~]Ś u	is aux l	head	-n 5	5		
USER	PID	×CPU	×MĖM	VSZ	RSS	TTY	STAT	START	TIME COMMAND
root	1	0.0	0.6	193680	6796	?	Ss	Nov09	0:12 /usr/lib/systemd/systemdswitched
-root	system	ides	serial	ize 22					
root	້ 2	0.0	0.0	0	0	?	S	Nov09	0:00 [kthreadd]
root	4	0.0	0.0	0	0	?	S<	Nov09	0:00 [kworker/0:0H]
root	6	0.0	0.0	0	0	?	S	Nov09	0:02 [ksoftirqd/0]

ポート開放

概要

CentOS 7とFirewallのポート開放と転送(ポートフォーワード)の設定を行う。



#### CentOS 7

- CentOS 7はデフォルトでfirewalldというファイアウォールが動作
- firewalld に httpd (80番ポート)への通信を許可
- \$ sudo firewall-cmd --zone=public --add-service=http --permanent
- \$ sudo firewall-cmd --reload

[furuhama@localhost ~]\$ sudo firewall-cmd --zone=public --add-service=http --permanent success [furuhama@localhost ~]\$ sudo firewall-cmd --reload

• \$ sudo firewall-cmd --list-all

• servicesにhttpがあることを確認

```
[furuhama@localhost ~1$ sudo firewall-cmd --list-all
public (active)
  target: default
  icmp-block-inversion: no
  interfaces: enp0s3
  sources:
  services: dhcpv6-client http ssh
  ports:
  protocols:
  masquerade: no
  forward-ports:
  source-ports:
  icmp-blocks:
  rich rules:
```

## 余談であるが、CentOS 6までは、iptablesを直接操作していた。 それを面倒に感じたTA竹原は、CentOS 7が出た当初、早速Firewalldを使ってみたが、Zoneの変更にバグがあ り、結局面倒に感じたことを覚えている。 しかし、Debian系でよく使われるufwよりかは好みであり、わざわざDebianにもFirewalldを導入している。 これらは、結局の所、内部的にiptablesを操作しており、フロントエンドが異なるだけである。

\_\_\_\_\_

#### VirtualBox

- 同様にVirtualBoxでも設定を行う
- VirtualBox マネージャー上部の設定を押す

	Oracle VM VirtualBox マネージャー
<b>リール</b>	新規(N)         設定(S)         破棄         表示(H)
64 Sec2 Cent7	📃 一般 📃 プレビュー
	名前: Sec2_Cent7 オペレーティングシステム: Red Hat (64-bit)
	メインメモリー:         1024 MB         Image: Control of the second se
	アクセラレーション: VT-x/AMD-V, ネステッド ページング, PAE/NX, KVM 準仮想化
	■ ディスプレイ
	ビデオメモリー: 16 MB 表示倍率: 3.00 グラフィックスコントローラー: VMSVGA リモートデスクトップサーバー: 無効 レコーディング: 無効
	2 ストレージ
	コントローラー: IDE IDE セカンダリマスター: [光学ドライブ] 空 コントローラー: SATA SATA ポート 0:

ネットワークを押す

				Sec2_Cent	7 – 一般				
		$\bigcirc$							
一般 システム	ディスプレイ	ストレージ	オーディオ	ネットワーク	ポート	共有フォルダー	ユーザーインターフェー	-ス	
<u>シ</u> :	ステム	Ħ	★ 古F	在 书店		ディフク啐皇ル			
		一些		支 武功		イスク唱ちに			
名前:	Sec2_Cent7	,							
タイプ:	Linux							\$	4
バージョン:	Red Hat (6	4-bit)						\$	
							キャンセ	2ル	OK

高度を押す

	S	Sec2_Cent7 - ネットワーク			
VM設定カテゴリ間の操	$\mathbf{\Sigma}$			•	
一般 作を許可する ディスプレイ	ストレージ オーディオ	ネットワーク ポート 共	有フォルダー ユーザーィ	インターフェース	
	アダプター1 アク	ダプター 2 アダプター 3	3 アダプター 4		
✓ ネットワークアダプタ	ーを有効化				
割り当て: NAT		<b>2</b>			
名前:					٢
▷ 高度					
				キャンセル	ОК

### ポートフォワーディングを押す



• 右側の緑色の+を押す

			Se	c2_Cent7 -	ネットワー	ク			
		$\bigcirc$							
一般 システム	ディスプレイ	ストレージ	オーディオ	ネットワーク	ポート	共有フォルダー	ユーザーインターフ	7ェース	
	名前	プロトコ	コルホス	スト IP ホ	ストポート	ゲスト IP	ゲスト ポート		
✓ ネット									
									٢
									<b>\$</b>
プロ									\$
									G
						キャン	/セル 0	K	ОК

- 名前は適当に(例はhttp)
- ホストポート:41080、ゲストポート:80を入力

	•			Se	ec2_Cent7 ·	- ネットワー	ーク		
			$\bigcirc$						
一般	システム	ディスプレイ	ストレージ	オーディオ	ネットワーク	ポート	共有フォルダー	ユーザーインターフェー	-ス
		名前	プロトコル	ホスト	IP 木	ストポート	ゲスト IP	ゲスト ポート 🧹	
<	ネット	http	ТСР		41	080		80  🗘 🤞	
									$\diamond$
									\$
	プロ・								\$
									C)
							++		ОК
							772		
				IDE セカン	ダリマスタ	一: [光学	ドライブ] 空		

## ブラウザでテストページ確認

- \$ sudo systemctl start httpd.service
- ブラウザで http://localhost:41080 にアクセス
- 下記に画像が画面に表示されればOK



# 手順2:index.html、test.php表示

設定ファイルの確認とバックアップの作成

- WebサーバApacheの設定は、/etc/httpd/confと/etc/httpd/conf.d/の下にある.confファイルを編集
- httpd.confのバックアップ作成
  - \$ cd /etc/httpd/conf/
  - **\$ Is -I**
  - \$ sudo cp httpd.conf httpd.conf.orig
  - **\$ Is -I**
- conf.dのバックアップ作成
  - \$ cd /etc/httpd/
  - \$ Is -I
  - \$ sudo cp -r conf.d conf.d.orig
  - **\$ Is -I**

余談であるが、以下のように引数を短縮して記述することができる。

\$ sudo cp httpd.conf{,.orig}

これは、 \$ sudo cp httpd.conf httpd.conf.orig と展開される。 また、 \$ cp hoge{1,2}.txt

#### と入力すると、

\$ cp hoge1.txt hoge2.txt

#### と展開される。

\_\_\_\_\_

#### サイトのホームディレクトリの変更の仕方

- httpd.confではApacheの設定を行う
- httpd.confの中のDocumentRootではHTMLファイルを置くドキュメントルートを設定
  - 。 外部から見たサイトのルート
- 今回ドキュメントルートはデフォルトの/var/www/html/のままで作業をすすめるため、確認だけ行う
- \$ cd /etc/httpd/conf
- \$ sudo vi httpd.conf
- viで起動したら、/を入力し、DocumentRoot "/var/www/html"を検索
- DocumentRootのパスを変更を変更したい場合ここを編集(今回はしない)

#### AddHandlerの追加によるCGIファイルの認識

- CGIとはWebサーバ上のプログラムに問い合わせやデータをHTTPで送信するための仕組み
  - この仕様に基づいて作成されたプログラムをCGIプログラムと言い、CGIプログラムの内、コンパイル作業が不要なスクリプト言語で記述されたものをCGIスクリプトという(今回はPHP)
- 下図はブラウザ、サーバープログラム、CGIプログラムの概略を示したものである
- CGIを用いることで、あらかじめ用意されたHTMLを表示するだけでなく、アクセスカウンターやアン ケートホームなど、Webページの内容を動的に変化させることができる



- 同様に/を入力し、AddHandlerで検索
- #AddHandler cgi-script .cgiの行をアンコメントアウトし、.phpを追加
   コメントアウトとアンコメントアウトは#を先頭につけるかつけないかでできる
- さらに、Opitons + ExecCGIを追加
  - TAはここを書いていなかったためphpファイルが表示されず発狂してました(余談)
- :wgで保存

```
# AddHandler allows you to map certain file extensions to "handlers":
# actions unrelated to filetype. These can be either built into the server
# or added with the Action directive (see below)
#
# To use CGI scripts outside of ScriptAliased directories:
# (You will also need to add "ExecCGI" to the "Options" directive.)
#
AddHandler cgi-script .cgi .php
Options +ExecCGI
```

#### 解説

 AddHandler cgi-script .cgi .phpでは、.cgiや.phpの拡張子がついたファイルをCGIとして実行した結果を 返すように設定している

\_\_\_\_\_

• Options + ExecCGIでは、CGIの実行を有効にしている

余談であるが、旧来は、CGIといえばPerlであった。 しかし、PHPやRubyの台頭によりその場を奪われつつある。 また、CGIはその特性上、近年では、CGI自体が減りつつある。

#### autoindex.confを編集

- iconsディレクトリはデフォルトコンテンツで使う画像などが設置されているディレクトリ
- このディレクトリが有効な場合、そこに含まれるREADMEファイルなども表示されてしまうため、セキュリティ上、無効化することが好ましい
- CentOS 7ではautoindex.confで無効化できる
- \$ cd /etc/httpd/conf.d
- \$ sudo vi autoindex.conf
- viで起動したら、/を入力し、Alias /icons/ "usr/share/httpd/icons/"を検索
- 下記をコメントアウトし、:wqで保存

```
# Alias /icons/ "/usr/share/httpd/icons/"
#
# <Directory "/usr/share/httpd/icons">
# Options Indexes MultiViews FollowSymlinks
# AllowOverride None
# Require all granted
# </Directory>
```

- Apacheの設定をリスタート
- \$ sudo systemctl restart httpd.service

index.htmlをブラウザで表示

- \$ cd /var/www/html
- \$ sudo vi index.html
- index.htmlに下記を記述

<HTML><BODY> <H1>Hello, World.</H1> </BODY></HTML>

- ブラウザからhttp://localhost:41080にアクセス
- 下図が表示されればOK



#### Hello, World.

test.phpを表示

- \$ sudo yum install -y php
- \$ cd var/www/html
- \$ sudo vi test.php
- test.phpに下記を記述

<?php phpinfo(); ?>

• Apacheの設定をリスタートして、下図が表示されればOK

× +			
calhost:41080/test.php			
PHP Version 5.4	PHP Version 5.4.16		
System	Linux localhost.localdomain 3.10.0-1127.el7.x86_64 #1 SMP Tue Mar 31 23:36:51 UTC 2020 x86_64		
Build Date	Apr 1 2020 04:08:16		
Server API	Apache 2.0 Handler		
Virtual Directory Support	disabled		
Configuration File (php.ini) Path	/etc		
Loaded Configuration File	/etc/php.ini		
Scan this dir for additional .ini files	/etc/php.d		
Additional .ini files parsed	/etc/php.d/curl.ini, /etc/php.d/fileinfo.ini, /etc/php.d/json.ini, /etc/php.d/phar.ini, /etc/php.d/zip.ini		
PHP API	20100412		
PHP Extension	20100525		
Zend Extension	220100525		
Zend Extension Build	API220100525,NTS		
PHP Extension Build	API20100525,NTS		
Debug Build	no		
Thread Safety	disabled		
Zend Signal Handling	disabled		
Zend Memory Manager	enabled		
Zend Multibyte Support	disabled		
IPv6 Support	enabled		
DTrace Support	disabled		
Registered PHP Streams	https, ftps, compress.zlib, compress.bzip2, php, file, glob, data, http, ftp, phar, zip		
Registered Stream Socket Transports	tcp, udp, unix, udg, ssl, sslv3, tls		
Registered Stream	zlib.*, bzip2.*, convert.iconv.*, string.rot13, string.toupper, string.tolower, string string tags, convert.*, consumed, dechunk		

## 手順3:ログの確認

### Webサーバのログ

- Webサーバにどこからアクセスがあったか、どんなエラーがあったかの確認は /var/log/httpd/の ファイルに記録されている
- アクセスログ: access\_log、エラーログ: error\_logのファイルを参照

### アクセスログ

- \$ sudo tail /var/log/httpd/access\_log
- tailコマンドはファイルの末尾を表示
- 下図のようなフォーマットで出力されることを確認

10.0.2.2 - - [10/Nov/2020:01:57:47 +0900] "GET / HTTP/1.1" 200 50 "-" "Mozilla/5.0 (Macintosh; Inte] Mac OS X 10\_15\_6) AppleWebKit/537.36 (KHTML, like Gecko) Chrome/86.0.4240.111 Safari/537.36"

#### フォーマット解説

- 10.0.2.2 -
  - 。 10.0.2.2 どこからアクセスしたかのIPアドレス。VirtualBoxの仕様より、10.0.2.2になる
- [10/Nov/2020/:01:57:47 +0900]
  - 。 アクセス日時
- "GET / HTTP/1.1" 200 50 "-"
  - 。 WebサーバにHTTPとしてどんなリクエストがあったかを示す
- "Mozilla/5.0 (Macintosh; Intel Mac OS X 10\_15\_6) AppleWebKit/537.36 (KHTML, like Gecko) Chrome/86.0.4240.111 Safari/537.36"
  - 。 どのOSでどのブラウザからアクセスしたか

• 詳細は参考文献を参照

#### WEBサーバへのGETとPOSTでのリクエスト

- GETは指定されたWebページの閲覧を要求
- POSTはクライアント側からサーバ側へ情報を送信

### エラーログ

- \$ sudo tail /var/log/httpd/error\_log
- 下図のようなフォーマットで出力されることを確認

#### [Tue Nov 10 03:06:45.734371 2020] [:error] [pid 10001] [client 10.0.2.2:53952] script '/var/www/html /default.php' not found or unable to stat

#### フォーマット解説

- [Tue Nov 10 03:06:45.734371 2020]
  - 。 アクセス日時
- [:error]
  - 。 errorやwarnなどを記述
- [pid 10001]
  - 。 プロセスID
- [Client 10.0.2.2:53952]
  - WebクライアントのIPアドレス
- script '/var/www/html/default.php' not found or unable to stat
  - エラーの内容。この例では/var/www/html/の中にdefault.phpが存在していないためエラーになっている
- 詳細は参考文献を参照

## 参考文献

- 1. Apacheのテストページ表示まで
  - https://weblabo.oscasierra.net/apache-installing-apache24-yum-CentOS 7-1/, 2020/11/10
  - https://www.karakaram.com/how-to-use-systemctl-journalctl/, 2020/11/10
  - http://equj65.net/tech/systemd-boot/, 2020/11/18
- 2. index.html、test.php表示まで
  - http://www.tohoho-web.com/wwwcgi1.htm , 2020/11/10
  - https://www.ritolab.com/entry/42, 2020/11/10
  - https://www.adminweb.jp/apache/cgi/index2.html, 2020/11/10
- 3. ログの確認
  - https://www.tweeeety.blog/entry/2018/06/21/235130 , 2020/11/10
  - https://beyondjapan.com/blog/2020/02/access-log/, 2020/11/10
  - https://www.itmedia.co.jp/help/tips/linux/l0466.html , 2020/11/10
  - https://www.atmarkit.co.jp/ait/articles/0202/16/news001.html , 2020/11/10

## 奥付

名前	古濵 尚樹 ( Naoki FURUHAMA ), 竹原 一駿 ( Ichitoshi TAKEHARA )
所属	香川大学大学院 工学研究科 信頼性情報システム工学専攻 喜田研究室 M1
2020/12 2021/05 	2/03 初版 5/25 2版